

このたびは『CheckKEY II』をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
商品の正しい取り付け・取り扱いに関して本紙をよくお読みいただき、本紙に書かれている
注意事項を必ずお守りください。また、お読みになられた後は大切に保管してください。

本商品の取り付けには、**プラスドライバー（1番）**をご用意ください。
一般的な家庭用ドライバーセットに同梱されています。
また、樹脂カバーが付いているキーをご使用の場合は
取り外しの際にマイナスドライバー（刃幅2mm）が必要
です。

【内容物一覧】取付作業を開始する前に必ずご確認ください。

①トレイ（パーツ7個）

- フタはA～Dのうち、いずれかひとつを使用します。（キーカギ穴の形状によって選択します）
- 非接触キーをご利用でない場合は、ICチップタグは使用しません。

②小ねじ 2本

③キーリング 1個

④シール 1枚
（カラー識別／施錠／解錠用）

ICチップタグフタ、CheckKEY II 本体、トリガー、フタ-A、フタ-B、フタ-C、フタ-D

0 樹脂カバーが付いているキーをご使用中の場合

ご使用中のキーに樹脂カバー（ICチップ入り／なし）が付いている場合は、下記のように取り外してください。

【共用エントランス用 非接触キー】（ICチップ入り）

※カラーシールの場合もあります

【大型樹脂カバー付キー】（ICチップなし）

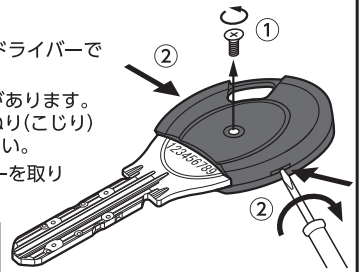
※カラーチップなし

カラーチップ

【樹脂カバーの取り外し方】

- ①裏面にある外れ止めのねじをプラスドライバーで外してください。
- ②矢印部分の2ヶ所に取り外し用の溝があります。マイナスドライバーを入れ、軽くひねり（こじり）ます。順番に2ヶ所とも行ってください。
- ③樹脂カバーの表と裏が分割され、キーを取り外すことができます。

樹脂カバー（ICチップ）は7で使用しますので捨てないでください。



1 CheckKEY II を取り付けるキーのタイプをご確認いただき、対応するフタを選びます。

樹脂カバーがついている場合は①で取り外してください。

【Aタイプ】 【Bタイプ】 【Cタイプ】 【Dタイプ】

カギ穴形状

カギ穴形状（シャッター付）

※Cタイプ、Dタイプはキーヘッド形状が同じです。カギ穴の形状で判断してください。

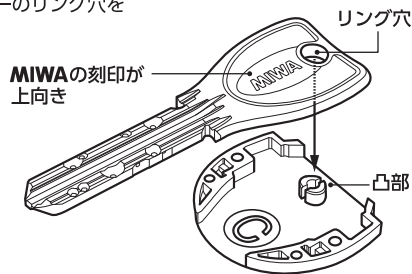
キータイプA～Dと同じ刻印のフタをトレイから取り出してください。（必ずキーのタイプと同じ刻印のフタをご使用ください）

【Cタイプの場合】



2 フタにキーをセットします。

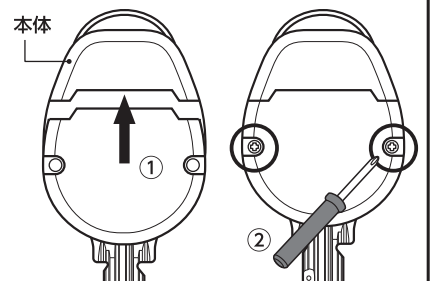
①で取り出したフタの凸部にキーのリング穴をしっかりと押し込んでください。



MIWAの刻印が上側にくる（見える）ように、ご注意 取り付けてください。

3 CheckKEY II 本体にキーをセットします。

- ①②をCheckKEY II 本体に取り付けます。
- ②裏面のねじ穴2ヶ所に、付属の小ねじ2本をプラスドライバーで取り付けます。



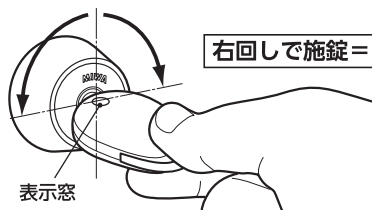
小ねじの締め付けすぎにご注意ください。

4 施錠方向と表示窓の色を確認します。

ご使用中のカギが左右どちらに回したときに施錠するタイプなのか、実際に操作してご確認ください。

左回しで施錠＝橙

右回しで施錠＝白



キーの操作は、少し押し込みながら、最後まで回すようにしてください。
キーを抜くと表示窓の色が変わります。

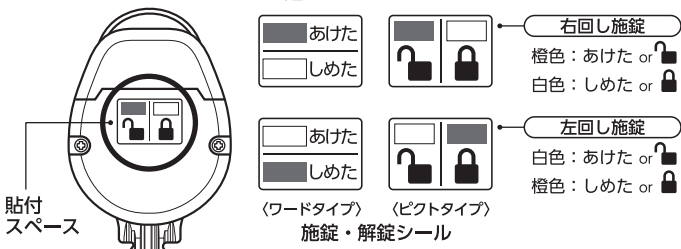
▶正常に動作する場合は⑤へ

▶カギが回らない・表示が切り替わらない場合は、使用するフタのタイプを間違えた可能性があります。

- ①フタ-Cを取り付けて、カギが回らない場合。
→フタ-Dを使用して②からやり直してください。
- ②フタ-Dを取り付けて、表示が切り替わらない場合。
→フタ-Cを使用して②からやり直してください。

5 施錠・解錠シールを貼り付けます。

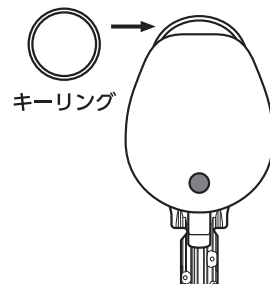
施錠タイプをご確認後、施錠・解錠シールをCheckKEY II裏面に貼り付けてください。ワードタイプとピクトタイプからお選びください。



6 付属のキーリングを取り付けて終了です。(必要な場合)

以下の場合、CheckKEY II本体に付属のキーリングを取り付けてください。

- ①ICチップ入りの非接触キーをご使用の場合。
- ②CheckKEY II本体にキーホルダーを直に取り付けられない場合。



ご注意

CheckKEY II本体のリングに無理な力をかけて、直にキーホルダーを通すことはおやめください。リングが変形する場合があります。

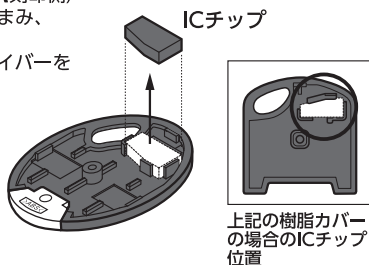
【非接触キーをご使用の場合は7～10が必要です。】

7 樹脂カバーからICチップを取り外します。

非接触キーの樹脂カバー表面(MIWA刻印側)に付いているICチップを指で軽くつまみ、取り外してください。取り外しにくい場合はマイナスドライバーを使用してください。

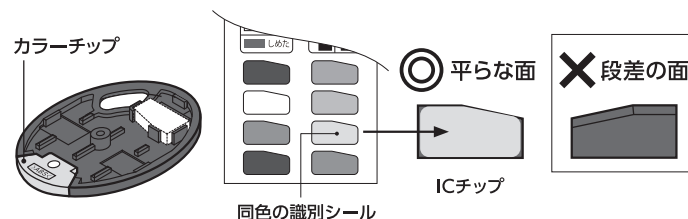


ICチップの紛失にご注意ください。また、強い衝撃や力等を加えないでください。



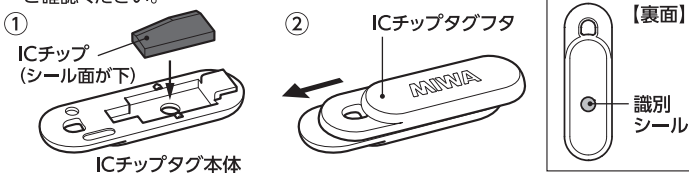
8 ICチップに識別シールを貼ります。

ICチップの平らな面に、非接触キーのカラーチップと同色の識別シールを貼り付けてください。



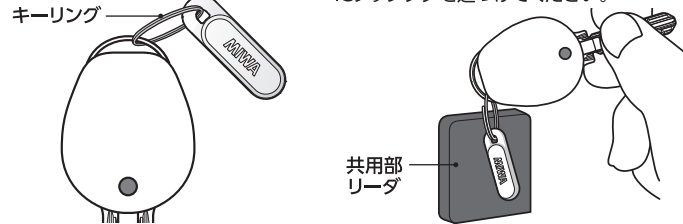
9 ICチップをICチップタグに移し替えます。

- ①ICチップタグ本体(MIWA刻印がない側)に、8で識別シールを貼った面を下にしてICチップを入れてください。
- ②ICチップタグフタ(MIWA刻印側)をかぶせ、スライドさせてカチッと音がするまで閉めてください。また、ICチップタグ裏面の窓から識別シールの色が見えることをご確認ください。



10 ICチップタグをキーリングに取り付けます。

- ①ICチップタグをキーリングに取り付けてください。
- ②共用部リーダで動作を確認してください。リーダにはCheckKEY II本体ではなく、ICチップタグを近づけてください。



【商品を安全にご利用いただくために】

〈取付時の注意事項〉

- 取付可能なキー以外に使用しないでください。無理に取り付け、商品が変形すると、作動しなくなるおそれがあります。
- 必ずキーのタイプに合ったフタを使用して取り付けてください。異なったフタを無理に取り付けると施錠・解錠操作ができません。
- 本紙(取付説明書)の手順で取り付け、取り付けが完了してから使用してください。手順途中で使用すると、破損のおそれがあります。
- 正常に取り付けができなかった場合、施錠・解錠操作ができなくなるおそれがありますので、必ず取り付け後はすみやかに確認操作をしてください。万が一のトラブルを防ぐため、確認の際は扉を開けた状態で行ってください。また、確認操作のできない外出先等で取り付けることはおやめください。

〈使用時の注意事項〉

- 本商品は1人暮らしの方に特におすすめいたします。2人以上でお住まいの方でも使用することはできますが、その場合、キーの表示が現在の扉の状態と同じではない場合があります。例えば、母親が施錠して外出した後で子供が施錠を忘れて外出した場合、母親のCheckKEY IIの表示は「しめた」ですが、実際の扉は解錠しています。また、自分で施錠して外出し、帰宅時に室内側から解錠してもらった場合は表示が「しめた」のままになります。次に施錠操作をしても表示は「しめた」のまま変わりません。
- 本商品の表示方式は、内部部品の重力を利用しています。通常の操作では問題なく使用できますが、次のようなときは正しく表示されないことがあります。
 - ・素早く操作し、内部部品に重力がかかる前に操作を終了したとき。
 - ・通常操作の反対側にキーを回したとき。
 - ・水やゴミ等が本商品の内部に入ってしまったとき。
 - ・トリガー(キーを差し込むと前後に動作する部品)を指先でいたずらに動かしたとき。
 - ・カバンやポケットの中で物にぶつかった拍子にトリガーが押し込まれたとき。
 - ・誤ってキーを落下させる等強い衝撃を与えてしまったとき。
- 本商品を振った際にカチャカチャと音がありますが、本体内部の重力で作動する部品が移動している音です。故障や不良ではありません。
- 本商品を取り付けた後のキー操作は、トリガーの反発力があるため、少し押し込みながら奥まで差し込んでください。
- キーを回すときは、途中で止めずに最後まで回してください。

- 分解したり、他の目的には使用しないでください。
- 油や市販の潤滑剤等を注入しないでください。
- 汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、除菌アルコールを布に含ませて、ふいてください。ベンジン、シンナーなどの溶剤、洗剤は、変色、変形、ひび割れの原因となりますので、使用しないでください。
- 車のダッシュボードの上や火の近く等、高温になる場所には放置しないでください。
- 直射日光が当たる場所に保管しないでください。変色・変形のおそれがあります。
- 乳幼児の手の届かない所に保管してください。

〈免責事項〉

- 本商品は、ご使用になる方が直近に行ったキーの操作履歴を表示するもので、扉の施錠・解錠状態を保証するものではありません。例えば、玄関を操作した後に別の箇所(ゴミ置き場等)を操作してしまうと、玄関の操作履歴はなくなってしまいますので十分ご注意ください。
- 本商品を取り付けたキーを落下させたり、踏みつけたり、著しい外力が加わったことで破損した場合は、免責とさせていただきます。
- 本商品の内部に水やゴミ等が入ってしまい、動きが悪くなったり、正しく表示できなくなった場合は、免責とさせていただきます。
- 扉の施錠・解錠不備や、盗難・事故等による損害につきまして、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

製造元

美和ロック株式会社

〒105-8510 東京都港区芝3丁目1番12号

ご質問・お問い合わせはこちらから

<https://www.miwa-lock.co.jp/q/?r=faq>

